



# 奈良県感染症情報

令和4年 第21週(5月23日～5月29日)

奈良県感染症情報センター(奈良県保健研究センター)

<https://www.pref.nara.jp/27874.htm> TEL:0744-47-3183

## 今週の概要

- 屋外・屋内でのマスク着用について

## ◆ 定点把握感染症報告状況(定点当たり患者報告数の上位5疾患) ◆

順位	疾患名	奈良県			北部	中部	南部
		定点当たり	(前週)	増減			
1	感染性胃腸炎	4.88	(4.56)	↗	↗	↑	↓
2	RSウイルス感染症	0.50	(0.03)	↑↑	↑↑	↓	↑↑
3	咽頭結膜熱	0.24	(0.15)	↑↑	↑↑	↑	↑↑
3	突発性発しん	0.24	(0.35)	↘	↘	→	↓
5	A群溶連菌咽頭炎	0.21	(0.09)	↑↑	↑↑	↑↑	↑

発生状況: **大流行** **流行** **やや流行** **少し流行** **散発** (疾患毎に、基準値を定めています。)  
 増減: 過去5週間平均数と比べたときの変化 **↑↑急増**、**↑増加**、**↗やや増加**、**→横ばい**、**↘やや減少**、**↓減少**

## ◆ 県内概況(新型コロナウイルス関係) ◆

第21週の新型コロナウイルス新規感染者数は1604名と第20週の1875名より減少していますが、依然高い水準で推移しています。

引き続きリスクの高い場面に注意し、基本的な感染防止策「人と人との距離の確保」、「マスクの着用」、「手洗い等の手指衛生」、「換気」の徹底をお願い致します。

## ◆ 県内概況(その他の感染症) ◆

RSウイルス感染症の報告が郡山保健所管内で増加しています。乳幼児や高齢者では症状が進み、湿性咳嗽(タンがからんだ咳)や気管支炎、肺炎へと重症化することがあります。しかし、年長児や成人は症状が軽く、感染していることがわかりにくいことから、咳等の症状がある場合は、できるだけ乳幼児等への接触を避ける必要があります。

## ❁ 屋外・屋内でのマスク着用について ❁

＜屋外の場合＞

・人との距離(2m以上を目安)が確保できる場合や、距離が確保できなくても、会話をほとんど行わない場合(※)は、マスクを着用する必要はありません。

※「会話をほとんど行わない」とは、屋外で人とすれ違う際に簡単な挨拶を交わす場合や、携帯電話で話している者の横を立ち止まらずに通るような場合を想定しています。

＜屋内の場合＞

・人との距離(2m以上を目安)が確保できて、かつ会話をほとんど行わない場合は、マスクを着用する必要はありません。

◇夏場は、熱中症防止の観点から、マスクが必要ない場面では、マスクを外すことを推奨します。

◇マスクを着用しない場合であっても引き続き、手洗い、「密」の回避等の基本的な感染対策を継続しましょう。

詳しくは、厚生労働省HP([https://www.mhlw.go.jp/stf/seisaku\\_nitsuite/bunya/kenkou\\_iryuu/dengue\\_fever\\_qa\\_00001.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisaku_nitsuite/bunya/kenkou_iryuu/dengue_fever_qa_00001.html))をご参照ください。

**新型コロナウイルス感染症対策**  
**屋外・屋内でのマスク着用について**

○マスク着用は従来同様、基本的な感染防止対策として重要です。一人ひとりの行動が、大切な人と私たちの日常を守ることに繋がります。  
 ○屋外では、人との距離(2m以上を目安)が確保できる場合や、距離が確保できなくても、会話をほとんど行わない場合は、マスクを着用する必要はありません。  
 ○室内では、人との距離(2m以上を目安)が確保できて、かつ会話をほとんど行わない場合は、マスクを着用する必要はありません。

**屋外**

- 距離が確保できる: マスク必要なし (会話をする)
- 距離が確保できない: マスク着用推奨 (会話をする)
- 距離が確保できる: マスク必要なし (会話をほとんど行わない)
- 距離が確保できない: マスク着用推奨 (会話をほとんど行わない)

**屋内**

- 距離が確保できる: マスク着用推奨 (会話をする)
- 距離が確保できない: マスク着用推奨 (会話をする)
- 距離が確保できる: マスク必要なし (会話をほとんど行わない)
- 距離が確保できない: マスク着用推奨 (会話をほとんど行わない)

高齢の方と会う時や病院に行く時は、マスクを着用しましょう。体調不良時の出勤・登校・移動はお控えください。

夏場は、熱中症防止の観点から、屋外でマスクの必要のない場面では、マスクを外すことを推奨します。

❖ 定点把握感染症報告状況 ❖

令和 4 年 第 21 週 5 月 23 日 ~ 29 日

保健所別報告数	奈良県		北部		中部		南部
	奈良市	郡山	中和(東)	中和(西)	吉野		
インフルエンザ定点数	55	14	14	11	10	6	
インフルエンザ							
小児科定点数	34	9	9	7	6	3	
RSウイルス感染症	17 (0.50)		16 (1.78)			1 (0.33)	
咽頭結膜熱	8 (0.24)		2 (0.22)	3 (0.43)	2 (0.33)	1 (0.33)	
A群溶連菌咽頭炎	7 (0.21)		4 (0.44)	1 (0.14)	1 (0.17)	1 (0.33)	
感染性胃腸炎	166 (4.88)	41 (4.56)	33 (3.67)	28 (4.00)	62 (10.33)	2 (0.67)	
水痘	4 (0.12)	1 (0.11)	1 (0.11)		2 (0.33)		
手足口病	4 (0.12)	2 (0.22)			2 (0.33)		
伝染性紅斑							
突発性発しん	8 (0.24)	1 (0.11)	2 (0.22)		5 (0.83)		
ヘルパンギーナ	2 (0.06)		1 (0.11)	1 (0.14)			
流行性耳下腺炎							
眼科定点数	10	3	3	2	2	0	
急性出血性結膜炎							
流行性角結膜炎	2 (0.20)			2 (1.00)			
基幹定点数	6	1	2	1	1	1	
細菌性髄膜炎							
無菌性髄膜炎	1 (0.17)				1 (1.00)		
マイコプラズマ肺炎							
クラミジア肺炎							
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)							

❖ 全数把握感染症報告状況 ❖ ( )は保健所別内訳

1類感染症	
2類感染症	結核4件(奈良市2、中和1、吉野1)
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症2件(郡山1、中和1)
4類感染症	レジオネラ症1件(中和1)
5類感染症	後天性免疫不全症候群1件(奈良市1) 梅毒3件(奈良市1、中和2)

❖ 第21週のトピックス ❖

◆2回目ワクチン接種から感染までの日数がSARS-CoV-2オミクロン系統に対するブレークスルー感染者血清の交差中和活性を決定する(国立感染症研究所)  
<https://www.niid.go.jp/niid/ja/basic-science/immunology/11173-imm-2022-02.html>

◆腸管出血性大腸菌感染症 2022年3月現在  
(IASR Vol. 43 p103-104: 2022年5月号)  
<https://www.niid.go.jp/niid/ja/ehc-m/ehc-iasrtpc/11138-507t.html>

※令和3年12月20日より内吉野保健所は吉野保健所に統合されましたので、旧内吉野保健所分は吉野保健所として集計しています。

※平成27年2月16日より桜井保健所と葛城保健所は統合され中和保健所となりました。旧桜井保健所分は中和(東)、旧葛城保健所分は中和(西)として集計しています。

上段 : 報告数  
(下段) : 定点当たり報告数 報告数÷定点数

年齢別報告数

年齢区分	年齢	0-5M	6-11M	1歳	2	3	4	5	6	7	8	9	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80-	合計	累計	
インフルエンザ	男女																							
RSウイルス感染症	男女			2	2	2																6	40	
咽頭結膜熱	男女		1	3	1																	5	48	
A群溶連菌咽頭炎	男女			1	1			4			1											6	64	
感染性胃腸炎	男女		3	24	8	11	10	8	4	2	4	4	6	1	4							89	1411	
水痘	男女		1	12	15	7	9	3	2	2	4	1	5	1	5							77	1304	
手足口病	男女			1							1											1	12	
伝染性紅斑	男女																					3	20	
突発性発しん	男女		2	1																		5	37	
ヘルパンギーナ	男女			2	3																	1	31	
流行性耳下腺炎	男女			1									1									1	4	
急性出血性結膜炎	男女																							
流行性角結膜炎	男女									1							1					2	23	
細菌性髄膜炎	男女																							
無菌性髄膜炎	男女																	1				1	2	
マイコプラズマ肺炎	男女																						1	
クラミジア肺炎	男女																							
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	男女																							

❖ 注目疾患の動向 ❖ 全て定点当たり報告数

■ R4 ▲ R3 □ R2 〰 過去10年平均

